

今週の

いきもの広場

① ナナフシモドキ



足先まで含めると 15cm 程になる成虫が見つかりました。ちなみに「ナナフシ」とよばれていますが、実際には「ナナフシ」という名前の昆虫はいません。

② ヤスマツトビナナフシ



トビナナフシのなかまは翅（矢印）を持っています。あまり目立ちませんが、折りたたまれている翅を広げて滑空することができます。

③ クワカミキリ



5cmほどの比較的大きいカミキリで、白黒模様の触角が特徴です。クワの樹皮をはいで食べるため、あごの力は強く、噛まれると痛いですが、持つときは、背中を持つようにしましょう。

④ キマダラカメムシの幼虫

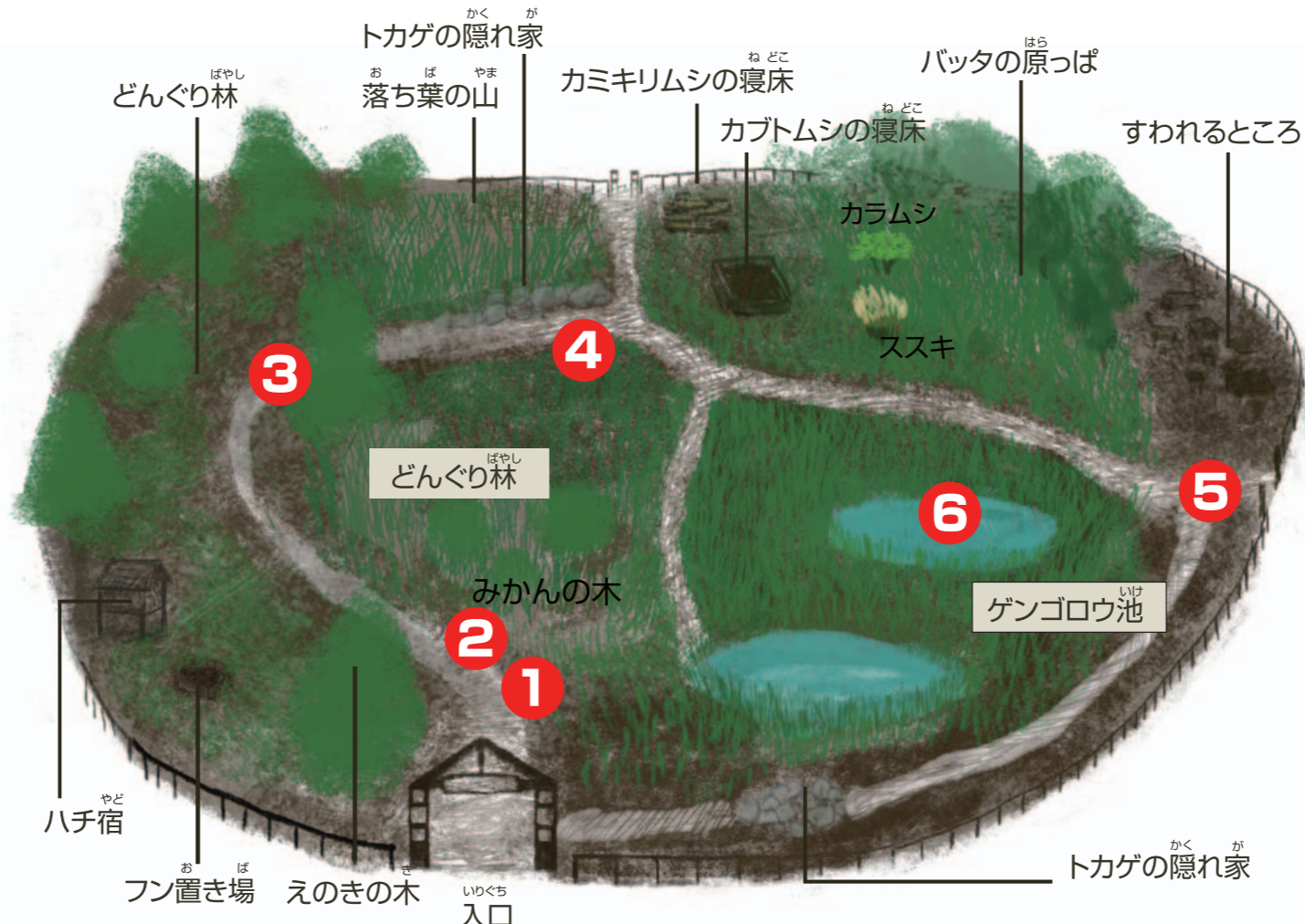


初夏～初秋にサクラなどの葉や枝にみられます。成虫が黄色いまだら模様であるのに対して、幼虫は地味で、橙～赤色の星座のような模様があるのみです。

カブトムシの幼虫はお休み中です



カブトムシの幼虫がさなぎへと変身中です。さなぎの時に傷がつくと、成虫になれないこともあります。土は掘らずに、静かに見守ってあげてください。



⑥ オオシオカラトンボのオス



オスは体色が水色、メスは黄色です。ショウジョウトンボ・クロスジギンヤンマのオスとともに、なわばり争いのため池の水面を飛び回っています。

⑤ カナブン



カブトムシと同じコウチュウ目の昆虫で、クマギなどの樹液を吸います。複数いる場合は、カナブン同士の樹液をめぐる闘いが見られます。